

1 学校教育目標【校訓：みんな 仲よく 力いっぱい】

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育てる

＜めざす児童像＞ 進んで学ぶ子（知） 心豊かな子（徳） 力いっぱいがんばる子（体）

Happy Hatcho＜笑顔あふれる素敵な学校＞

～自分や周りの人と仲良く協力でき、個性を育み、夢中になって活動する八町の子～

※「50年後の未来へ育む土壌を持続していく」

2 学校経営の方針

（1）自分に適した学び方を培い、活用できる確かな学力を育成する。

- ・基礎基本の定着（学習内容と学び方）
「読み、書き、計算」を中心に、繰り返し練習し、学び方を含めた基礎基本の徹底を図る。
- ・「外国語（英語）・外国語活動」「イメージ教育」の研究推進
今までの教育実践の蓄積と授業等の改善、持続可能な体制の構築を図る。
イメージ教育の良さを学校全体で共有する。
- ・個別最適の学びと主体的・対話的で深い学びの研究推進「八町小型板書授業案」改善推進
学校と家庭の連携で個別最適な学びの充実と、子どもの興味・関心を喚起する授業づくりに取り組む。

（2）豊かな心と良い人間関係を築く力を育成する。

- ・児童、職員の well-being の実践により温かな学級集団、地域、PTA との良い関係づくりに取り組む。
児童に豊かな表情で温かく接するために教職員自身の「Well Being」の実践と児童の自己肯定感を高める取り組み、社会的スキルの向上を目指し、一人一人を大切にする温かな学級づくりに取り組む。
- ・道徳教育の充実
道徳の時間の確保と教師の指導技術の向上に努める。八町小独自の道徳授業方法の確立
- ・異年齢集団、地域交流等の活性化
たてわり活動の充実、地域の方々等との交流を企画する。特色あるカリキュラムの改善
八町小の4つの花「あいさつ」「思いやり」「感動」「勤労」を大切にする。

（3）体力向上を心掛け、健康・安全に留意する意識・習慣づけを図る。

- ・運動習慣、体力づくり、けが防止
年間を通して、体を動かし鍛えるための、環境の構築、長放課の実施および教育課程の改善を図る。
- ・安全意識の高揚と自分の命を守る実践力の向上
子どもの安全意識の高揚を図り、事故や大きなけがの防止に努める。
- ・より健やかで安全な生活習慣の確立
「あしたもははは」を柱に、健康に留意した、規則正しい生活習慣を身につけさせる。

（4）専門性・組織力を備え、目標達成のために心一つにして進む教職員集団となる。

- ・教職員の指導力、授業力の向上
教職員研修の充実に努め、個人の力量向上を図る。先進校授業参観の推進。
- ・一人一人を生かす（活躍させる）授業の工夫と教育活動
個々の子どもの考えや思いを大切にし、子どもが個性を発揮し、子どもの活躍の機会、自己決定の機会を増やし、自己肯定感を高める。教職員による適切な支援と承認、賞賛。
- ・風通しの良い職場と教職員の共通理解
職員会議、打ち合わせ等での計画の共通理解、計画の検討と十分な準備時間を確保する。

（5）家庭・地域から信頼され、地域と連携した教育活動を展開する。

- ・学校からの情報発信
学校の方針や情報を保護者や地域に適切に発信する。「HP」「メール配信」の充実による学校情報の発信と「グーグルフォーム」の活用に向けた研究。
- ・コミュニティ・スクール（「地域と共にある学校」）の推進と持続可能な体制の構築
歴史と伝統で結ばれた地域の教育力、教育資源を積極的に活用し、誇りのもてる地域・学校づくりをコミュニティ・スクールの実践をとおして推進し、持続可能な体制を構築する。
①「学校運営協議会」でよりよい八町小に向けての熟議の展開、②特色あるカリキュラムの実践とPDCAサイクルによる改善、③ESD・SDGsの取り組みの活性化、④「八町サポーター」の登録、⑤「八町サポーター」による児童の見守り、行事・授業支援など「地域学校協働活動」の推進